

# 1. ハンズオン支援事業モデル地区 における取組内容の報告

---

# ハンズオン支援事業モデル地区の取組内容一覧

頁	府県	市町村	支援対象	取組内容
3	青森県	黒石市	除雪	除雪事業者の連携体制構築、除雪出動の判断基準の適正化
4	山形県	山形市	橋梁	橋梁点検に関する新技術・産学官連携の仕組み導入への助言
5	山形県	山形市	公園・木橋 除草樹木管理	木橋：詳細調査、導入可能な新技術提案 公園：樹木管理に関する新技術導入、包括的民間委託検討
6	茨城県	桜川市	舗装	補修工法や維持管理の方針・基準、職員体制等含めた道路舗装管理の仕組み作り
7	新潟県	十日町市	除雪	排雪・攪拌作業の効率化、除雪体制適正化への助言、情報提供
8	静岡県	静岡市	橋梁	タブレットを活用した橋梁点検への新技術導入、要領の見直しに関する助言、情報提供
9	愛知県	豊川市	舗装	AIカメラによる道路損傷箇所検出の精度向上、日常点検の効率化
10	京都府	大山崎町	橋梁	新技術導入による日常点検の効率化、職員の負担軽減の仕組みの構築
11	兵庫県	川西市	舗装、橋梁道路 (法面)、緑地法面	道路・橋梁の点検、緑地法面の除草・樹木管理に関する新技術導入への助言
12	奈良県	十津川村	橋梁	広域に点在する橋梁の日常点検の効率化、吊橋の安価な点検手法の検討
13	山口県	周南市	橋梁	監視対象橋梁の措置・監視方法に対する助言および新技術導入
14	徳島県	美波町	橋梁	損傷度判定に関する職員、地元企業のノウハウ向上・継承、修繕に対する方針の明確化
15	大分県	津久見市	橋梁	中小規模橋梁の点検・補修への新技術導入、直営点検導入に向けた支援
16	大分県	杵築市	橋梁	包括的民間委託による3次元データ導入に対する発注支援

# (青森県黒石市)除雪事業者の連携体制構築、除雪出動の判断基準の適正化

## 取組概要

支援対象：除雪

- 除雪事業者への連絡体制、出動状況確認、日報管理などの職員作業が負担であり、除雪出動の判断を職員が目視で行っていることから、業務効率化、出動基準の適正化について検討。
- 「除雪事業者との連絡調整システム」や「除雪車の位置情報管理システム」を導入し、パトロール業務の効率化を図る。また、除雪事業者の連携体制構築・除雪判断基準の適正化に向けた検討を進める。

- 市人口：31,946人 ※1
- 市面積：217.05 km<sup>2</sup> ※2
- 土木・建築技師：8人 ※3

(出典)  
※1:人口:2020年国勢調査  
※2:面積:2024年4月国土地理院面積調  
※3:2023年4月総務省地方公共団体定員管理調査、一般行政部門

## 背景、課題、ニーズ

- (事業者への連絡体制)約30社の事業者で電話で連絡しており、時間を要する。各社に一斉に連絡でき、受信確認できる技術が知りたい。
- (事業者の作業状況確認)除雪の作業状況を市職員が直営でパトロールしており、負担を軽減したい。
- (日報管理)除雪作業にあたる重機が約100台あり、日報の稼働時間の管理を効率化したい。
- (除雪出動の判断)職員が目視で出動判断をしており、地区ごとの降雪量の差を踏まえた判断が難しく、業務効率化、基準の適正化を目指す。

現地踏査後打合せ



市街地除雪状況



山間部



## 検討方針

- 除雪出動時の職員作業効率化に向けた新技術の導入、除雪事業者の連携体制構築・除雪判断基準への助言の2つが支援の柱。
- 新技術については、除雪事業者との連絡調整システム、除雪車の位置情報管理システム等の導入を検討。技術選定、発注準備、業務実施の各段階に応じた情報提供・助言等の伴走支援を実施。

## 検討スケジュール

- ①除雪出動時の職員作業効率化に向けた新技術の導入
- ②除雪事業者の連携体制構築 除雪判断基準への助言



# (山形県山形市)橋梁点検に関する新技術・産学官連携の仕組み導入への助言

## 取組概要

支援対象: 橋梁

- すでに新技術の導入実績があるが、更なる新技術の導入により業務の効率化等を図るべく、比較的簡易で扱いやすい新技術の導入を検討。
- 市全体での導入コスト低減のため、市内の橋梁をグルーピングしたうえで導入する新技術を検討。特殊橋梁の管理手法の確立や新技術導入に向け、産学官連携の仕組みを検討。

- 市人口: 247,590 人 ※1
- 市面積: 381.3 km<sup>2</sup> ※2
- 土木・建築技師: 124人 ※3

(出典)  
※1: 人口: 2020年国勢調査  
※2: 面積: 2024年4月国土地理院面積調  
※3: 2023年4月総務省地方公共団体定員管理調査、一般行政部門

## 背景、課題、ニーズ

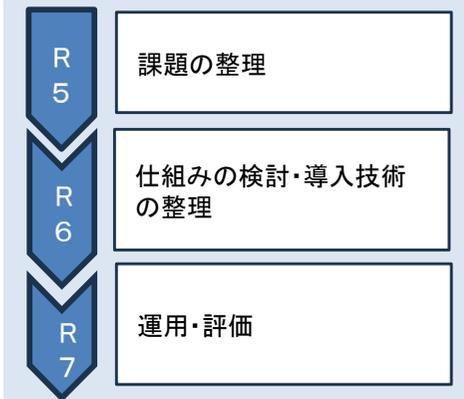
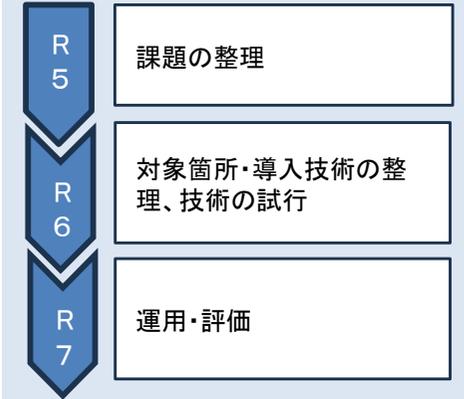
- 土木技術職員の内、30代の若手職員が1割程度で、担当をもちながら、災害対応や除雪対応(緊急対応)などで現場に出ることも多く、業務負担が大きい。
- これまでにドローンによる橋梁点検等、すでに新技術の導入実績がある。一方、特定の橋梁において単体での点検の実施等による点検コストの発生も課題。
- 今後、更なる新技術の導入により点検など業務の効率化等を図るべく、比較的簡易で扱いやすい新技術の検討を希望。

## 検討方針

- 市全体での導入コスト低減のため、同種の橋梁を新技術の優位性が高い複数の観点でグルーピングし、導入する新技術の候補をピックアップ。いくつかの新技術を試行したうえで、新技術の導入による業務の効率化を目指す。
- 特殊な部材を有する橋梁について、管理手法の確立や新技術の導入に向け、産学官連携の仕組みを検討。

## 検討スケジュール

- ①橋梁点検に係る新技術導入
- ②産学官連携の仕組みの検討



# (山形県山形市)公園の維持管理に関する新技術による効率化への助言

## 取組概要

支援対象：公園

- 史跡山形城の木橋の老朽化が進行する中、復元した木橋の修繕に関するノウハウの不足が課題。また、公園の除草や樹木管理に要する費用の確保に苦慮しており、新技術による効率化を検討。
- 木橋に関する調査の内容及び修繕方法を検討。また、公園の植生及び利用実態を踏まえた対象箇所を選定、効率化の仕組みを検討する。

- 市人口：247,590人 ※1
- 市面積：381.3 km2 ※2
- 土木・建築技師：124人 ※3

(出典)  
※1：人口：2020年国勢調査  
※2：面積：2024年4月国土地理院面積調  
※3：2023年4月総務省地方公共団体定員管理調査、一般行政部門

## 背景、課題、ニーズ

- 木橋については、史跡としての扱いを踏まえた補修の事例、情報が不足しており、補修方法の検討が困難。
- 公園については、予算確保に苦慮しており、除草・樹木管理の効率化を目指す。
- 今後、専門家の助言の下で、木橋補修設計の実施、除草・樹木管理への新技術の導入や効率的な管理手法の適用により業務の効率化等を目指す。

## 検討方針

- 木橋については、老朽化の状況を調査するにあたり、調査内容の検討を進める。その後、補修方法について検討する。
- 公園については、除草、樹木管理に係る効率的な管理手法やその対象について検討を進める。

## 検討スケジュール

### ①木橋の修繕



### ②除草・樹木管理の効率化検討



### 打合せ



### 現地踏査



### 対象橋梁



# (茨城県桜川市)補修工法や維持管理の方針・基準、職員体制等含めた道路舗装管理の仕組み作り

## 取組概要

支援対象：舗装

- 管理延長が広範囲であることに加え、要望苦情・緊急対応に追われている。予算制約もある中で、現状の職員の直営対応のみで持続的に公共サービスの品質を維持していく必要がある。
- 道路舗装における有効な補修工法や、職員の体制・人材育成の体制など、桜川市の実情にあった道路舗装管理の仕組みを作り、「長寿命化修繕計画」として整理することを検討。

- 市人口：39,122人 ※1
- 市面積：180.06 km<sup>2</sup> ※2
- 土木・建築技師：1人 ※3

(出典)  
※1：人口：2020年国勢調査  
※2：面積：2024年4月国土地理院面積調  
※3：2023年4月総務省地方公共団体定員管理調査、一般行政部門

## 背景、課題、ニーズ

- 広範囲の舗装管理延長を有し、舗装の劣化が進行している。技術系職員がいずれも事務職を兼任している状況で、緊急対応や地区の要望対応に追われており、予算も限られている。
- 現状の職員の直営対応のみで持続的に公共サービスの品質を維持できるように検討する。

### 初回協議の様子



### 現地踏査の様子



## 検討方針

- 道路舗装について、有効な補修工法を検討するとともに、職員の体制・人材育成など含めた、桜川市の実情にあった道路舗装管理の仕組み作りを目指す。

## 検討スケジュール



# (新潟県十日町市)排雪・攪拌作業の効率化、除雪体制適正化への助言、情報提供

## 取組概要

支援対象: 除雪

- 人件費や燃料費の上昇により増加する除雪費の削減に向けた新技術導入を検討。また、平場と山間地で降雪量が異なるなかで業者が出動判断をしており、出動基準の適正化を図る。
- 除雪費削減に資する除排雪方法、現行の除雪管理システムの効率化・機能拡充について検討を進める。

- 市人口: 49,820 人 ※1
- 市面積: 590.39 km<sup>2</sup> ※2
- 土木・建築技師: 21人 ※3

(出典)  
※1: 人口: 2020年国勢調査  
※2: 面積: 2024年4月国土地理院面積調  
※3: 2023年4月総務省地方公共団体定員管理調査、一般行政部門

## 背景、課題、ニーズ

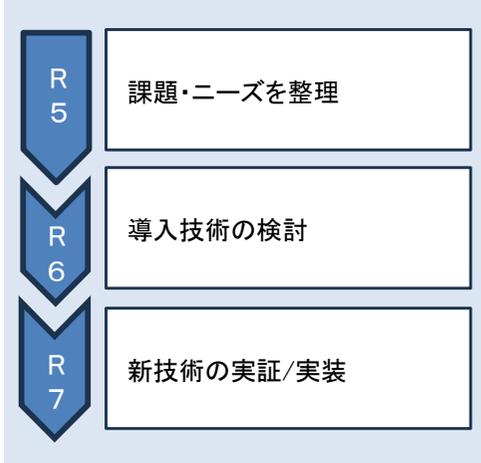
- 排雪・攪拌作業に係る除雪費の削減が急務。GPSを活用した除雪管理システムを導入し、業務効率化を図っているが、高齢化による担い手不足なども課題。
- 除雪の出動は、降雪12月～2月10cm、11月、3月15cmの出動基準を目途に、業者が独自に判断しており、地区毎の降雪量の差を考慮した出動判断が困難である。
- 除雪費軽減・出動基準の適正化に向けて、除雪管理システムの機能拡充や安価な新技術導入、効率的な除排雪方法を検討。

## 検討方針

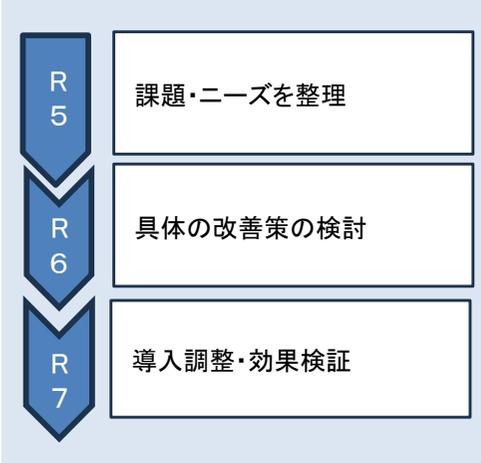
- 除雪費削減のため、効率的な除雪施工法の検討、業者管理の適正化策などについてアドバイザーによる助言。
- 除雪の出動基準や体制、除排雪管理の効率化のため、有効な新技術を他自治体の事例も参照しながら整理し、導入に向け検討中。

## 検討スケジュール

### ①除雪出動判断の適正化



### ②除雪方法の効率化



初回協議の様子

除雪管理システムデモ

現地踏査の様子



## 取組概要

支援対象: 橋梁

- 橋梁点検業務について、多数の橋梁の点検を職員が実施。新技術を導入して点検・日常作業、点検結果に基づく診断・補修の効率化を図る。独自の道路管理システムの情報の統一も希望。
- 国の点検要領の改定を契機とした、市独自の点検要領・記入様式の改定、施設データベースの改良などを通じて、橋梁メンテナンス全体の効率化、高度化を図る。

- 市人口: 693,389人 ※1
- 市面積: 1,411.93 km<sup>2</sup> ※2
- 土木・建築技師: 443人 ※3

(出典)

- ※1: 人口: 2020年国勢調査
- ※2: 面積: 2024年4月国土地理院面積調
- ※3: 2023年4月総務省地方公共団体定員管理調査、一般行政部門

## 背景、課題、ニーズ

- 約1000橋が対象となる直営点検の効率化が課題。タブレット端末を活用した橋梁点検の導入による改善を図る。
- タブレット導入にあたっては、既存のデータベースシステムとのデータ連携手法等の具体化が必要。システムを使い分けるのではなく、統一を希望。
- 国の点検要領の改定に伴う市独自の点検要領の改定、これらを考慮したタブレットシステムの導入により、委託点検の高度化や管理業務全体のあり方なども見据えた橋梁メンテナンス業務の更なる効率化を目指す。

### 現地踏査



### 試行中タブレット端末実演



## 検討方針

- タブレット導入等への助言、要領等の改定への助言の2つが支援の柱。
- タブレット端末の選定、発注準備、導入後の点検、診断の各段階に応じた情報提供・助言等を通じ、直営点検の効率化を支援。
- 点検要領の見直し、点検結果に基づく診断への助言を通じ、橋梁メンテナンスの高度化を支援。

## 検討スケジュール

### ①タブレット端末導入・システム改善



### ②点検要領・長寿命化計画改定、診断への助言



# (愛知県豊川市)AIカメラによる道路損傷箇所検出の精度向上、日常点検の効率化

## 取組概要

支援対象: 舗装

- AIカメラシステムを導入しているものの、市内の損傷箇所情報を網羅的に取得出来ておらず、損傷箇所の検出率や誤認識率が低いことが課題。
- AIカメラシステムの仕様を整理し、検出率向上、機能拡充を目指す。また、取得したデータを補修修繕計画の立案に活用し、修繕や長期的な予防保全策を検討。

- 市人口: 184,661 人 ※1
- 市面積: 161.14 km2 ※2
- 土木・建築技師: 40人 ※3

(出典)  
※1: 人口: 2020年国勢調査  
※2: 面積: 2024年4月国土地理院面積調  
※3: 2023年4月総務省地方公共団体定員管理調査、一般行政部門

## 背景、課題、ニーズ

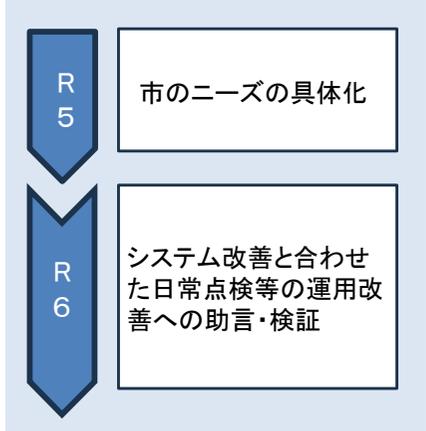
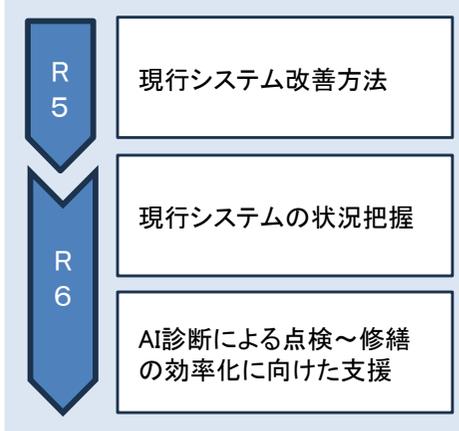
- 技術職員のリソースに限られる中、道路舗装の直営対応(日常巡回点検)の効率化や、市民からの要望・通報・苦情への対応が課題。
- AIカメラシステムを導入しているものの、市内の損傷箇所情報を網羅的に取得出来ておらず、損傷箇所の検出率や認識率が低いことが課題。
- 新技術により取得したデータを補修修繕計画の立案に役立て、修繕や長期的な予防保全を進めたい。

## 検討方針

- AIカメラシステムによる舗装維持管理業務及び、直営対応(日常巡回点検)の効率化への助言が支援の柱。
- 現行のAIカメラシステムの仕様(検出精度の向上・機能拡充への対応可否等)を整理し、精度改善策・得られるデータの活用策等について検討。

## 検討スケジュール

- ①新技術活用による舗装維持管理業務の効率化
- ②道路直営対応(日常巡回点検)の効率化への助言



# (京都府大山崎町)新技術導入による日常点検の効率化、職員の負担軽減の仕組みの構築

## 取組概要

支援対象: 橋梁

- 橋梁専任の担当がおらず、委託による点検・診断が中心となっている。異動による職員のノウハウ継承、直営点検における診断の精度向上が必要。
- 新技術導入による日常的なインフラ管理の効率化及び継続的に職員がノウハウを継承できる仕組みを検討。

- 市人口: 15,953 人 ※1
- 市面積: 5.97 km<sup>2</sup> ※2
- 土木・建築技師: 10人 ※3

(出典)  
※1: 人口: 2020年国勢調査  
※2: 面積: 2024年4月国土地理院面積調  
※3: 2023年4月総務省地方公共団体定員管理調査、一般行政部門

## 背景、課題、ニーズ

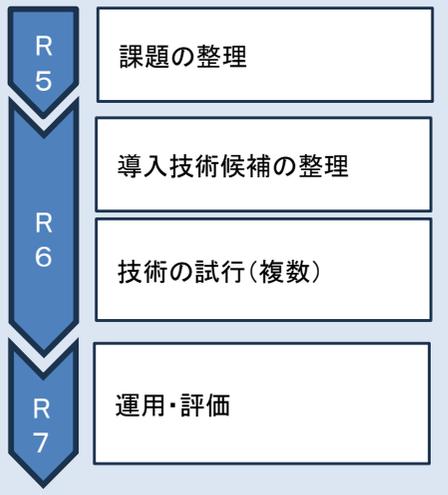
- 担当課において橋梁専任の担当がおらず、点検から診断までを業務委託している状況。
- 委託先頼りとなっているため、職員の人材育成や技術継承が課題。異動により担当課の職員に知見・ノウハウが定着せず、直営点検を実施しても点検を行う職員による診断のばらつきの発生を懸念。
- 同規模での橋梁の点検実績を有し、職員による新技術を用いた点検技術や人材不足の状況下での課題解決のための助言を希望。

## 検討方針

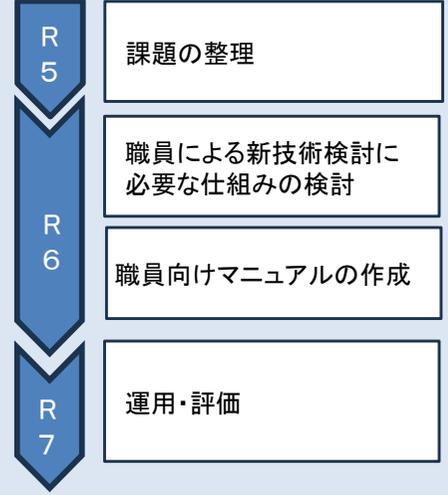
- データや事例等を共有することにより、職員が継続的に業務に取り組むことができる仕組みを検討。
- 日常管理を行う自治体職員が簡易に使える技術をピックアップ。いくつかを試行したうえで、新技術の導入による日常的なインフラ管理の効率化を目指す。

## 検討スケジュール

①橋梁点検・診断・修繕検討に有用な新技術導入



②職員自立化に向けた持続的な仕組み検討



打合せ



現地踏査



対象橋梁



# (兵庫県川西市)道路・橋梁の点検、緑地法面の除草・樹木管理に関する新技術導入への助言

## 取組概要

支援対象: 道路舗装・橋梁・緑地法面

- 道路の点検・補修、橋梁の点検、法面除草・管理等の多様な課題がある。過去に新技術導入を検討したが、費用対効果の面で導入に至らず。また、職員が新技術導入に必要な知見を得られるような機会の提供も希望。
- 新技術の探索のためのワークショップを行い、導入技術の優先順位付け、導入検討プロセスを体験し、職員の技術力向上を図る。

- 市人口: 15,321 人 ※1
- 市面積: 53.44 km<sup>2</sup> ※2
- 土木・建築技師: 74人 ※3

(出典)  
※1: 人口: 2020年国勢調査  
※2: 面積: 2024年4月国土地理院面積調  
※3: 2023年4月総務省地方公共団体定員管理調査、一般行政部門

## 背景、課題、ニーズ

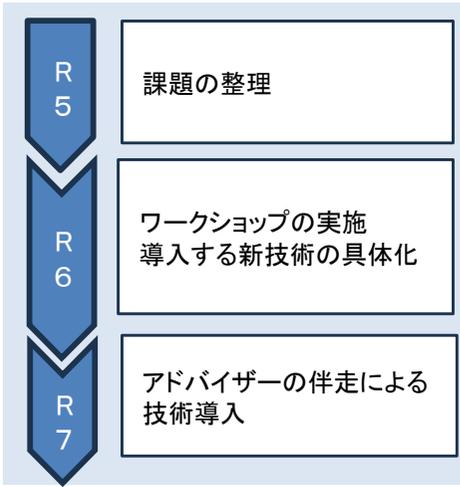
- 道路舗装の劣化状態の効率的な把握及び補修、橋梁点検困難箇所、効率的な法面除草及び法面樹木管理等の多様な課題が存在する。
- 過去に新技術導入を検討するものの実務上の負担や費用対効果の観点から導入に至らず。また、職員が新技術導入の手法・知見を十分に得られていない点が課題。
- 効果的・効率的で安価な新技術の導入を希望するとともに、職員が新技術導入に必要な知見を得られるような機会の提供も希望。

## 検討方針

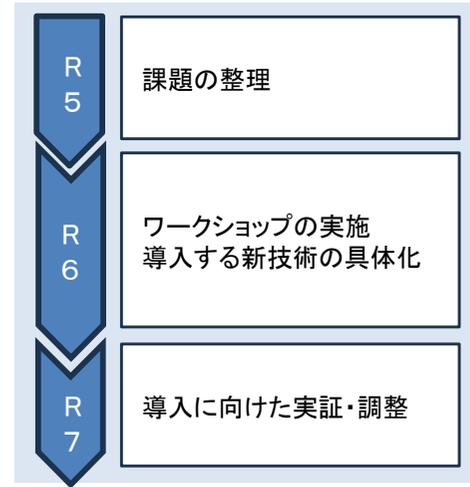
- 新技術の探索のためのワークショップを行い、導入技術の優先順位付け、導入検討プロセスを体験し、職員の技術力向上を図る。
- ワークショップの結果を踏まえて、緑地法面管理における倒木の防止、除草の効率化、道路舗装の点検・補修に関する導入新技術の具体化を図る。

## 検討スケジュール

①新技術導入に関する知見の向上



②緑地法面管理・道路舗装等への新技術導入



# (奈良県十津川村)広域に点在する橋梁の点検の効率化、吊橋の安価な点検手法の検討

## 取組概要

支援対象: 橋梁

- 職員不足の中、広域に多数の橋梁が点在しており、点検に時間を要する。窓口・電話・通報対応の負荷軽減や直営点検の診断制度改善に資する新技術を検討。
- 吊橋の点検(ロープアクセス)に代わる新技術や鋼橋の塗装塗り替えに活用可能な新技術の導入を検討。また、点検の効率化に向けて橋梁の維持管理システムの検討を進める。

- 市人口: 3,061 人 ※1
- 市面積: 672.38 km2 ※2
- 土木・建築技師: 7人 ※3

(出典)  
※1: 人口: 2020年国勢調査  
※2: 面積: 2024年4月国土地理院面積調  
※3: 2023年4月総務省地方公共団体定員管理調査、一般行政部門

## 背景、課題、ニーズ

- 職員不足の中、広域に多数の橋梁(全164橋)が点在しており、点検に時間を要する。特に吊橋の点検に要するコストが大きく、診断精度にも課題あり。
- 過去に吊橋定期点検にドローン活用を検討したものの、費用対効果の観点から導入に至らず。予算、職員数共に減少する中で、安価で効果的な新技術の導入が必要。

## 検討方針

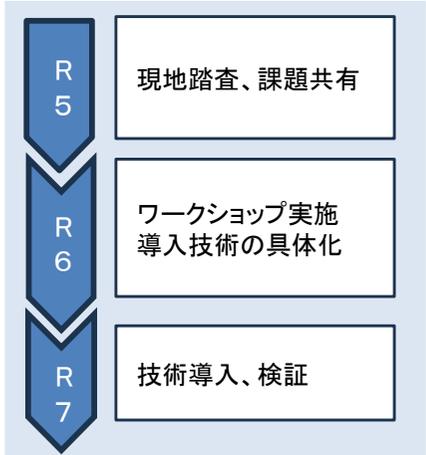
- 吊橋の点検にはロープアクセスを採用しているが、ドローン等を活用し、より安価で効率的な技術の導入を検討。
- PCB含有塗膜の残る鋼橋の塗装塗り替えに有効な工法を検討。

## 検討スケジュール

### ①吊橋定期点検・鋼橋塗装修繕



### ②直営点検効率化



# (山口県周南市)監視対象橋梁の措置・監視方法に対する助言および新技術導入

## 取組概要

支援対象: 橋梁

- 老朽化した橋梁が増加し、予算制約上、対策まで時間を要する。新技術を活用することで、劣化の進行や異常発生の予兆等を効率的に把握し、点検、修繕のサイクルの合理化、安全確保の両立を図りたい。
- 現状、橋梁監視は現地目視が主体であり、遠隔監視や日常点検の延長上で実施できる簡易計測などの新技術を導入予定。対象とする橋梁や技術を検討し、より安価な技術の導入を目指す。

- 市人口: 137,540 人 ※1
- 市面積: 656.29 km<sup>2</sup> ※2
- 土木・建築技師: 109人 ※3

(出典)  
※1: 人口: 2020年国勢調査  
※2: 面積: 2024年4月国土地理院面積調  
※3: 2023年4月総務省地方公共団体定員管理調査、一般行政部門

## 背景、課題、ニーズ

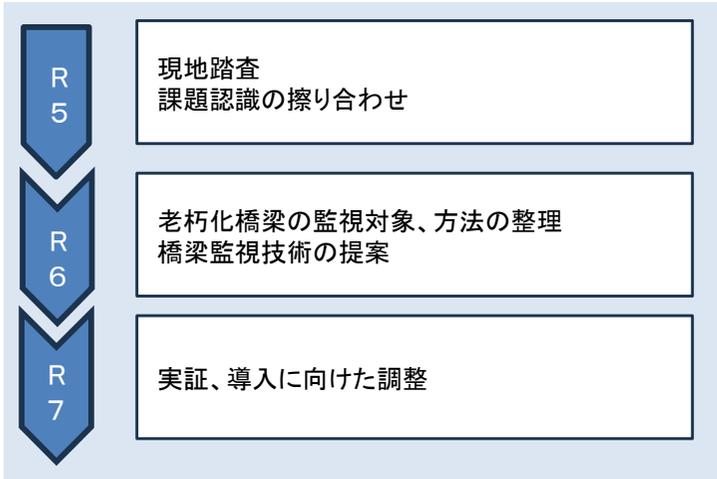
- 限られた予算内では、緊急度の高い橋梁から順次措置する必要があるため、老朽化した橋梁の異常を安価に監視する技術を導入し、目視点検を効率化したい。
- 過去にたわみ測定技術を試行したが、優位性が見られず実装に至らなかったため、専門家の意見を伺いたい。

## 検討方針

- 監視対象とする橋梁の選定等に関する考え方を整理した上で、対象橋梁への監視技術導入方法を示す。財政制約の中で活用できる安価な監視技術の導入に向けた検討を実施する。

## 検討スケジュール

### 橋梁監視技術の導入



現地踏査後打合せ



市赤迫線1号橋



戸田中央線1号橋



## 取組概要

支援対象: 橋梁

- 橋梁の維持管理について、技術職員の不足・異動によるノウハウ習得・継承が課題。地元コンサルを含めた技術力の向上、町としての修繕に対する考え方の明確化に向けて検討を進める。
- 橋梁損傷度の判定・措置に関する職員の専門性向上、財政状況を踏まえた施策の優先順位の考え方の整理、ノウハウ継承及び専門家の支援を踏まえた市の体制・仕組みの構築に向けた検討を行う。

- 市人口: 6,222 人 ※1
- 市面積: 140.74 km<sup>2</sup> ※2
- 土木・建築技師: 2人 ※3

(出典)  
※1: 人口: 2020年国勢調査  
※2: 面積: 2024年4月国土地理院面積調  
※3: 2023年4月総務省地方公共団体定員管理調査、一般行政部門

## 背景、課題、ニーズ

- 長寿命化計画策定時の劣化状況の判定について、現地でアドバイザーと再確認した結果、いずれの橋梁も軽微な劣化状況であることを確認。
- コンサル成果を精査する職員の能力の必要性を確認。
- 技術職の異動に備えたノウハウ継承、地元コンサルを含めた技術力の向上を目指す。

### 初回討議



### 現地踏査



### 劣化状況

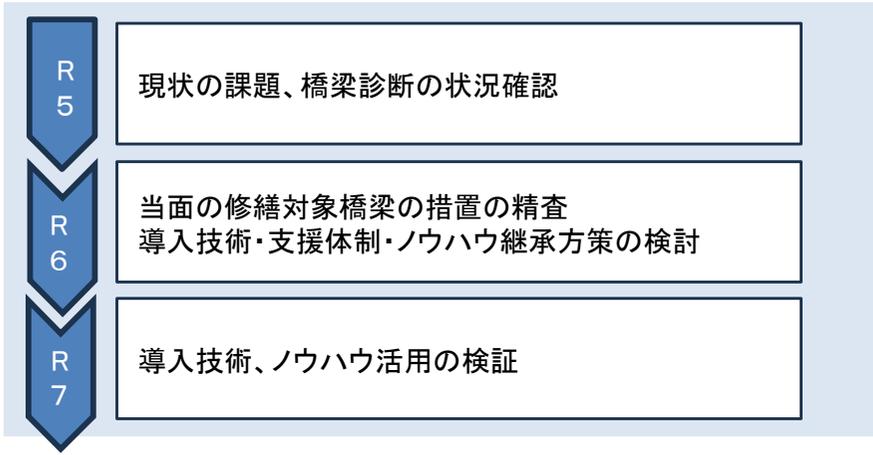


## 検討方針

- 橋梁の重要度、劣化度、財政状況等を踏まえた橋梁長寿命化に対する町としての方針を精査。
- 職員、地元業者の技術力向上、ノウハウ継承及び専門家の支援を含む体制・仕組み(ツール活用含む)の構築を検討。

## 検討スケジュール

診断措置の技術力向上、ノウハウ継承・支援体制構築



# (大分県津久見市)中小規模橋梁の点検・補修への新技術導入、直営点検導入に向けた支援

## 取組概要

支援対象: 橋梁

- 直営点検のノウハウが不足しており、限られた担当職員数の中で市内の多くを占める中小規模橋梁の点検・補修している。誰にでも活用できる新技術や教育システムに関する情報を希望。
- 新技術の導入が効果的と考えられる橋梁を選定し、ニーズに合った直営点検・簡易修繕技術を検討する。直営点検の導入に向けた勉強会も併せて検討する。

- 市人口: 16,100 人 ※1
- 市面積: 79.48 km2 ※2
- 土木・建築技師: 12人 ※3

(出典)  
※1: 人口: 2020年国勢調査  
※2: 面積: 2024年4月国土地理院面積調  
※3: 2023年4月総務省地方公共団体定員管理調査、一般行政部門

## 背景、課題、ニーズ

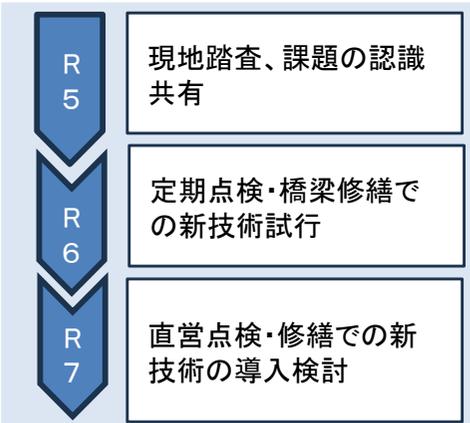
- 橋梁の老朽化が進行、今後更なるコスト増加が見込まれるが、橋梁の点検、補修に掛けられる予算は限られる。
- 橋梁の維持管理担当は1名と少人数の体制で、市内の多くを占める中小規模橋梁の点検・補修を効率化する必要がある。
- どの職員でも理解・実施可能、かつコスト縮減可能な新技術による点検、補修とその実現に向けた職員教育等の支援を希望。
- 市内で唯一橋梁点検車を活用している比較的規模の大きな橋梁について、新技術導入による点検コスト削減を希望。

## 検討方針

- R6年度定期点検での新技術導入に向け、対象橋梁と導入技術の選定および発注を支援。
- 橋梁点検車の代替技術として、画像診断技術を導入、コスト削減を目指す。
- 職員の技術力向上に向け、研修、維持管理計画の作成等の支援も検討。

## 検討スケジュール

- ①高所点検・中小規模橋梁の点検・修繕への新技術導入
- ②直営点検におけるノウハウ向上支援



# (大分県杵築市)包括的民間委託による3次元データ導入に対する発注支援

## 取組概要

支援対象：橋梁

- 橋梁点検においてⅡ～Ⅲ区分判定の割合が多いことが課題。市内でも土木技術職員減少による担い手不足が顕在化しており、持続的な維持管理体制の構築および補修工法など、維持管理業務全般の効率化を目指したい。
- 3次元データを活用し、遠隔で診断が可能な環境・仕組みの構築と、包括的民間委託の導入を検討。

- 市人口：27,999人 ※1
- 市面積：280.08 km<sup>2</sup> ※2
- 土木・建築技師：16人 ※3

(出典)  
※1：人口：2020年国勢調査  
※2：面積：2024年4月国土地理院面積調  
※3：2023年4月総務省地方公共団体定員管理調査、一般行政部門

## 背景、課題、ニーズ

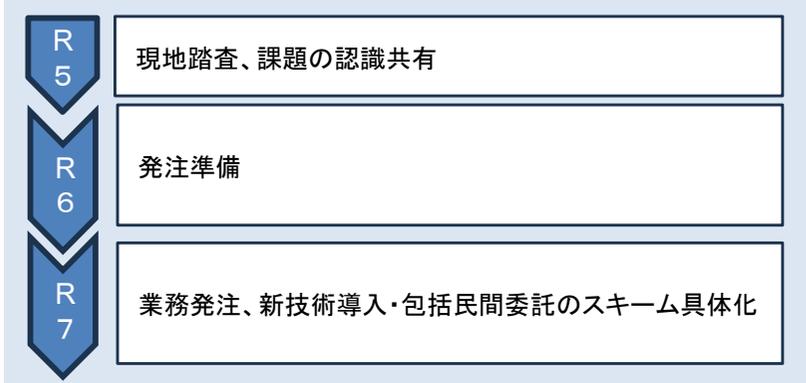
- 全国の地方公共団体の橋梁判定区分毎の割合と比較しⅡ～Ⅲ区分判定の割合が多く、補修費用が嵩んでいる。
- 橋梁データベースの構築とデータの利活用により、維持管理の効率化や将来の維持管理費も含めた計画の策定などを行い、中長期的なコストの最適化が必要。
- 自治体職員以外の様々な専門家による支援を受けられる体制の構築を希望。

## 検討方針

- 3次元データおよびデータをオープン化できるプラットフォームの活用を検討。維持、補修・修繕・工法等の維持管理業務全般の効率化を目指す。
- 担い手不足の解決に向け、橋梁の維持管理業務全般の包括的民間委託の導入を検討。業務の発注に向け、仕様、契約等の検討を実施。

## 検討スケジュール

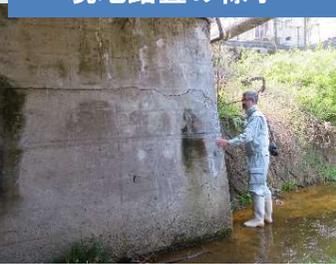
3次元データ活用を含む包括的民間委託



初回協議の様子



現地踏査の様子



劣化状況

